

発行:余市協会病院

発行日:平成30年1月1日

発行人:吉田 秀明

編集人:広報委員会

お問い合わせ:0135-23-3126

VOL.163 1月号



平成30年 新年の挨拶

(社福) 北海道社会事業協会

余市病院 院長 吉田秀明

新年明けましておめでとうございます。

このたびの冬は、例年より到来が早く、寒さが厳しく雪も多いという状況ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

厳しい冬ではありますが、ここで少し明るい話題を2つほど。

まず一つ目は、岩内病院のことです。岩内では昨年9月に透析センターを立ち上げました。岩宇地区にはそれまで透析対応施設が民間のクリニック1件だけでしたので、住民の方々や行政から協会病院に対して十数年来熱望されていたものです。

昨年4月に岩内病院に着任した医師が、透析を受け持ってくれると判明しましたので、ただちに準備室を設け、5階の病棟であったところを改修して「西後志透析センター」としたものです。おかげさまで大きなトラブルもなく順調に稼働しております。

また、地元住民の皆さまや役場関係者の方々には、とても好意的に受け止めていただいておりますことに感謝しております。センターの受け入れにはまだ余裕がありますので、もし岩内での透析をご希望される方がおられましたら、お気軽にご相談下さい。

二つ目は、小樽病院の「周産期母子医療センター」で分娩再開の見通しがついたことです。小樽病院は元々、札幌医大の産婦人科から医師を派遣していただいていたのですが、諸般の事情で平成28年9月をもって産科医師が不在の状況になりました。その後、非常勤の医師や手稲溪仁会病院の支援を得て、細々と婦人科診療と助産師外来を続けておりました。

そのような事態は地域存続の危機的状況との認識から、小樽市と北後志5ヶ町村が一致団結して「北後志周産期医療協議会」を設立し、小樽病院での分娩再開に向けた取り組みを強力に支援する態勢を整えて、積極的に活動を展開してくれました。

ちょうど1ヶ月前の12月4日に札幌医大産婦人科教授から、本年4月をめどに複数の産科医派遣の確約をいただいたものです。分娩取扱休止期間が約2年になりますが、道内の有力な大学からの産科医派遣が再開されるということは、当初、誰もが不可能と思っていたほど非常に稀なことです。それが比較的短期間で再開が実現する運びとなったのは、やはり地域住民皆様の熱意と道庁の御指導を仰ぎながら地域の行政・議会が協力して力強く真摯に取り組んでいただいた賜物と思います。この場を借りてあらためて感謝申し上げます。

今後は関係各位の期待に応えるべく、私ども北海道社会事業協会も全力で当たる所存です。

(裏面につづく)

(つづき)

以上はいずれも、余市病院と直接関連のある出来事ではありませんが、岩内・小樽とは同じ後志にある兄弟病院として、互いに支え合いながら運営しておりますので、余市としてもとても喜ばしく希望の湧いてくるような感じです。

それでは当の余市はどうかというと、昨年の年度替わりに有力な医師が複数退職あるいは転勤となっており、どうなることか相当心配した御仁も居ると聞き及びましたが、余市病院職員個々の奮闘と和、地元の皆様と役場、北後志消防組合のご理解と御協力をいただいて、どうにか健全に運営を続けさせていただいております。有難うございます。

また、昨年の新年の挨拶でも触れましたが、看護師を始めとする有資格職員の待遇を改善するために、職員用マンションの建築計画が進捗しております。できれば高速道路の開通に間に合わせたいと考えております。

高速道路開通といえば、一つ提案があります。

開通の前に、余市と朝里の両インターからウォーキングまたはランニングを企画してはどうでしょうか。車が走る前の高速道路を人力で制覇できるという、たった一度きりのチャンスを利用しない手はないと思います。ワイン特区としてかなりの盛り上がりも感じられる今こそ、もう一つインパクトのある催しが功を奏するのではないのでしょうか。

最後に、現在進められている「地域包括ケアシステム」構想ですが、余市病院は現在の姿を大きく変更する予定はありません。ポイントとなる病棟機能は現在と同じく、一般急性期、回復期、療養期、の3つで、病床数も大幅に変更する必要はない見込みでおります。地域であるからこそ何か一つの機能に特化せず、すべての状況に対応できるように運営することが重要であると考えております。

余市病院のミッションは明確で「医療インフラを維持して北後志生活圏を縁の下で支えること」です。

今後も、地域の皆様から頼りにされるような病院を目指して、職員一同ますます励みたいと思いますので、なお一層の御指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 元旦

🎄 クリスマスコンサート 🎄



澤田まさ子とその仲間たち
御一行をお迎えしてクリスマスコンサートを開催しました。普段聴く機会のない生のクラシックの音色に皆ウットリと聞き入っていました♪



救急件数 (11月)

外来受診191件 うち入院45件
救急車来院71件 うち入院27件